

西之表市と防衛省との協議の場報告（11 その2）

5月12日（金）に開催した第12回協議の場の概要を第28号その1に続き、ご報告します。なお、資料は令和5年5月25日発行の馬毛島だより第27号に抜粋して掲載しているほか、市ホームページへ掲載、企画課窓口に備付けておりますので、ご確認ください。

第12回協議の場

【日時】令和5年5月12日（金）13：10から

【場所】西之表市役所

【概要】（以下 $\boxed{\text{市}}$ =西之表市、 $\boxed{\text{防}}$ =防衛省）

〈主な工事の状況、環境保全措置等の状況〉

$\boxed{\text{防}}$ ：資料に基づき、以下のとおり説明

主な工事の状況としては、陸上工事では、引き続き、伐採や造成を行っているところであり、また、海上工事では、引き続き、仮設栈橋や係留施設等のための基礎捨石工事を行っているところである。

環境保全措置の状況としては、引き続き、オカヤドカリ類等の陸域動物やヒメノボタン等の陸域植物について、改変区域外の類似環境への移動・移植を行っているところである。

さらに、事後調査の状況としては、引き続き、ミサゴやニホンジカ等の陸域動物やコケセンボンギク等の陸域植物、海藻草類等の海域植物について、生息状況の確認を行っているところである。

最後に、環境監視調査の状況としては、本年2月に西之表市街地で大気質調査を、また、西之表市内を含む種子島内5か所で道路交通騒音や振動の調査を行ったところであ

る。また、海上工事開始後から継続的に海域の水質調査を行っているところである。

防衛省としては、引き続き、工事に際しては、評価書にお示しした環境保全措置等を確実に実施してまいる。

$\boxed{\text{市}}$ ：工事着手後の車両等の通行に伴う大気質や騒音、振動、水の濁り等についてご教示頂きたい。

また、ミサゴの繁殖の確認の有無やオカヤドカリの改変区域外への移動、馬毛島のニホンジカ等の現状についてご教示頂きたい。これらについては、今後も継続的な報告をお願いする。

$\boxed{\text{防}}$ ：大気質調査は、本年4月に西之表市街地1か所で1週間行ったところ、二酸化窒素の1日当たりの平均の基準値は0.006ppm以下で、最高値は0.003ppmであった。

二酸化硫黄の1日当たりの平均の基準値は0.04ppm以下で、最高値は0.004ppmであった。また、1時間当たりの基準値は0.1ppm以下で、最高値は0.013ppmであった。

浮遊粒子状物質の1日当たりの平均の基準値は1 m^3 当たり0.1mg以下で、最高値は0.034mgであった。また、1時間当たりの基準値は1 m^3 当たり0.2mg以下で、最高値は

0.077mg であった。

なお、調査時の環境は、南南東の風が卓越していて、平均風速が毎秒 1.6m であった。

道路交通騒音、道路交通振動及び交通量調査は、本年 4 月に西之表市内を含む種子島内 5 か所で、平日及び休日の 1 日 24 時間測定したところ、昼間の道路交通騒音の基準値は 70dB 以下で、平日は 54dB～65dB、休日は 53dB～64dB であった。

夜間の道路交通騒音の基準値は 65dB 以下で、平日は 41dB～55dB、休日は 48dB～55dB であった。

昼間の道路交通振動の基準値は 65dB 以下で、平日は 25dB 未満～26dB、休日は 25dB 未満～31dB であった。

夜間の道路交通振動の基準値は 60dB 以下で、平日及び休日ともに 25dB 未満～26dB であった。

交通量は、平日が約 400 台～約 11,900 台、休日が約 490 台～約 10,000 台であった。

只今説明させて頂いたとおり、全ての地点で基準値を下回っている。

海域の水質調査は、本年 3 月～5 月に馬毛島周辺海域 13 か所で行ったところ、海水 1ℓ 当たり、浮遊する粒子の重さが 0.2mg～3.5mg で、個々の地点ごとに定められた、3mg～6mg といった基準値を下回っている。

また、本年 1 月から 2 月にかけて、既存の 2 か所の営巣でミサゴの出入りを確認した。

これとは別に、新たに 2 か所で造巢初期の巣を確認した。さらに、オカヤドカリ類等の陸域動物は、本年 1 月以降随時、改変区域外の類似環境への移動を行っている。

このほか、本年 4 月に馬毛島のニホンジカ

の個体数の調査を行っている。調査結果は、現在分析中であり、取りまとめ次第、西之表市を始めとする地元自治体に情報提供する。

防衛省としては、引き続き、工事に際しては、評価書にお示しした環境保全措置を確実に実施していくとともに、今後とも、環境保全措置等の状況について西之表市を始めとする地元自治体に対し、継続的に情報提供する。

〈その他の意見交換〉

市：馬毛島の八重石遺跡に関し、4 月 17 日に鹿児島県から発掘調査を実施する旨の発表があったが、現在の状況についてご教示頂きたい。

防：八重石遺跡については、4 月 17 日に熊本防衛支局と鹿児島県教育委員会との間で発掘調査等に関する協定を締結し、鹿児島県立埋蔵文化財センター職員が同月 27 日に現地で事前調査を実施した上で、5 月 10 日から発掘調査を開始したと承知している。

調査期間は、7 月 1 日までとしているが、馬毛島内での工事は、調査に影響を与えない形で進めていく。防衛省としては、文化財保護法や鹿児島県教育委員会との協定に基づき、適切に対応していく。

市：仮に調査期間が延長された場合、工事に影響するのか。

防：発掘調査を実施しているところであり、現段階で影響についてお答えすることは困難だが、防衛省としては、文化財保護法や鹿児島県教育委員会との協定に基づき、適切に対応していく。